

1年生の皆さんとは、初めての称賛式となりました

振り返ってみると、前回の称賛式は、卒業式を目前にした2月28日のことでした。久しぶりに大勢の皆さんを称賛できて嬉しく思います。

さて、2学期の始業式で、体育大会、文化祭などの多くの学校行事もあり、皆さんにとって、本当に大切にしたいかけがえのない日々を、それぞれが自分の責任をしっかりと果たすということを出発点として、互いに協力しながら過ごしてほしいとお願いしましたが、現在のコロナ禍の制約の中でも、みずみずしい感性を失うことなく、素直で前向きな姿勢を保ち続け、心躍る学び合いの日々を送っている皆さんに改めて敬意を表したいと思います。

特に、県総体、四国選手権、インターハイ、国体、夏の甲子園、全国高文祭等の活動中止が決定される中、気持ちを切らすことなく、鍛錬を継続し、代替大会で成果を発揮してくれた3年生の諸君に改めて御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

今後も、しなやかなにしたたかに目の前の出来事に対処してください。君たち若者は、我々大人が思うよりもずっと逞しく、自らの力で今回のコロナ禍を乗り越えていくことができるし、そのことが成長に繋がるのではないかと思います。「強い者でも賢い者でもなく、唯一変化できる者が生き残っていくことができる」とダーウィンはいいます。

また、これもいつもお願いしていますが、課題を自ら見つけ、自分で考え、主体的に解決する学びを続けてください。皆さんそれぞれの活動の積み重ねが、学校の勢い、よい流れを作っていきます。そして、そのことは、このコロナ禍の中で受験に臨む3年生を後方から応援することにも繋がります。

体長の150倍もの跳躍力があるノミを小さな瓶に入れて蓋をします。ノミはこれまでどおり飛び跳ねると蓋にぶつかる。それを繰り返しているうちに、蓋をあけて蓋がなくなってもそのノミは瓶の高さ以上は飛び上がらなくなるそうです。さて、この飛べなくなったノミを元のようにジャンプできるようにするにはどうすればいいのでしょうか？その答えは、「他の普通に飛んでいるノミの中に入れてやると、元のように飛べるノミになる」のです。

誰と一緒に時間を過ごすかということとはとても大事で、お互いにエンパワメントし合える、応援し合える仲間とあれば、自然に影響を受けて成長していきます。

皆さん、今日もまた一日、一緒に頑張りましょう。